

	農学研究科(修士課程)
DP	<p>農学研究科修士課程は、本学の立学の精神および研究科の人材養成目的に基づき、以下の資質・能力を身に付け、修了に必要な30単位以上を修得し、修士論文の審査に合格した学生に対して、修士(農学)の学位を授与します。</p> <p>①農学に関わる高度な専門知識と研究手法を身に付けるとともに、高い倫理観および豊かな人間性を有している。</p> <p>②社会の持続的発展に寄与できる柔軟な思考力と問題解決能力を身に付けている。</p> <p>③研究成果を国内外に発信する能力を身に付けている。</p>
CP	<p>農学研究科修士課程は、研究科の人材養成目的を達成し、学位授与方針に示す資質・能力を身に付けさせるため、以下の方針に基づいて教育課程を編成しています。</p> <p>①最新の科学に対応した専門分野および関連分野の知識や技術を学ばせる。</p> <p>②科学者としての素養として、研究倫理および生命倫理を学ばせる。</p> <p>③未解明の問題へのアプローチ法や科学的解析法・論理的思考法・論文作成法を学ばせる。</p> <p>④国際的なプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を涵養する。</p>
AP	<p>農学研究科修士課程は、研究科の人材養成目的を理解し、大学などにおける学修を通して、次の能力・態度を身に付けている人を受け入れます。</p> <p>①修士課程での学修の基盤となる生命科学、食料・健康科学、環境科学、科学英語などに関する専門知識と応用力を身に付けている。</p> <p>②生物資源・生物生産、生命現象・食品機能、あるいは生物環境・環境保全などを扱う総合科学である農学を学ぶことに強い関心や意欲を持っている。</p> <p>③課題探求活動に積極的に取り組み、主体的、継続的、協調的に学修する力を身に付け、専門技術者や研究者として社会に貢献する意欲を持っている。</p>

	農学研究科(博士後期課程)
DP	<p>農学研究科博士後期課程は、本学の立学の精神および研究科の人材養成目的に基づき、以下の資質・能力を身に付け、修了に必要な16単位以上を修得し、博士論文の審査に合格した学生に対して、博士(農学)の学位を授与します。</p> <p>①広く農学に関わる高度な学識・解析能力に加え、高い教養・倫理観を身に付けている。</p> <p>②独創的な課題を設定・解決し、世界の繁栄に貢献する実践力を身に付けている。</p> <p>③研究成果を世界に発信できる能力を身に付けている。</p>
CP	<p>農学研究科博士後期課程は、研究科の人材養成目的を達成し、学位授与方針に示す資質・能力を身に付けさせるため、以下の方針に基づいて教育課程を編成しています。</p> <p>①専門分野および関連分野の高度な専門知識や活用法を修得させる。</p> <p>②自立した研究者の素養として、産業社会的知識および研究倫理を修得させる。</p> <p>③発展的な研究課題に対する探求・解決能力および論理的思考力を身に付けさせる。</p> <p>④国内外へ研究成果を発信する能力をより高める。</p>
AP	<p>農学研究科博士後期課程は、研究科の人材養成目的を理解し、大学院修士課程などにおける学修を通して、次の能力・態度を身に付けている人を受け入れます。</p> <p>①博士後期課程での学修の基盤となる生命科学、食料・健康科学、環境科学、科学英語などに関する専門知識と応用力を身に付けている。</p> <p>②生物資源・生物生産、生命現象・食品機能、あるいは生物環境・環境保全などを扱う総合科学である農学を学ぶことに強い関心や意欲を持っている。</p> <p>③課題探求活動に積極的に取り組み、主体的、継続的、協調的に学修する力を身に付け、専門技術者や研究者として社会に貢献する意欲を持っている。</p>